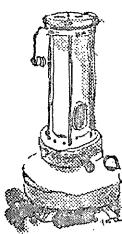


■文献解題（技術科）

これだけは読んでおきたい



人間の成長・発達の過程において技術教育が必要とされるゆえん、あるいは教育の全体構造のかで技術教育のはたす役割を、思想的・歴史的に論じたものとしてはつぎのものがある。

○クルーブスカヤ、勝田昌二訳『国民教育と民主主義』（一九五四年、岩波文庫）

○クラブ、大橋精夫訳『マルクス主義の教育思想』（副題『生産労働と教育の結合』）（一九六一年、お茶の水書房）

○海後宗臣・牧野巽・細谷俊夫編『産業教育の基本問題』（一九五九年、東洋館出版社）に收められている長谷川淳「産業教育の歴史的背景」

小・中学校における技術教育を括的・原理的に検討したものとしてはつぎのものがある。

○岡邦雄・三枝博音・長谷川淳編

がある。前者は大部なものであるがよくまとめられている。

技術科教育の歴史的性格を詳細に収められている原正敏・佐々木享「技術科」

に検討したものとしては、

○教育科学研究会編『現代教科の構造』（一九六四年、国士社）

に収められている原正敏・佐々木享「技術科」

K.K.)

がある。

『講座科学技術教育上巻・科学技術教育の基礎』、同編『下巻・科学技術教育の実際』（一九五九年、明治図書）

○佐々木享「技術科の性格・目標」（雑誌『教育』六六年五月号）

○同右「中学校の技術教育」（雑誌『教育』六五年十二月号、六年一月号）

○同右「中学校の技術教育」（雑誌『教育』六六年五月号）

○日教組編『後期中等教育改革』（一九六六年、日教組）

○技術教育を語る会『技術科教育の計画と展開』（一九六五年、明治図書）

○全国進路指導研究会編『後期中等教育再編成と進路指導』（一九六六年、明治図書）

○日教組編『後期中等教育改革』（一九六六年、日教組）

○後期中等教育改革に於ける技術科の位置づけ

○日教組編『後期中等教育改革』（一九六六年、日教組）

○後期中等教育改革に於ける技術科の位置づけ

○後期中等教育改革に於ける技術科の位置づけ

○後期中等教育改革に於ける技術科の位置づけ

○後期中等教育改革に於ける技術科の位置づけ

○後期中等教育改革に於ける技術科の位置づけ

書)

（専修大学 佐々木 享）

が現れる。前者は大部なものであるがよくまとめられている。

○池田種生編『技術科の創意の実践』（一九六四年、大日本図書社）

後者は、採録された資料が新しくまとめてある。

○岡邦雄編『技術・家庭科授業入門』（一九六六年、明治図書）

いだけでなく、問題が包摺的に検討されている。対策がおくれていて

サークルの共同研究として、技術科の目標・性格・内容・指導方

法を統一的にあくし、めん密な

検討を経て研究・実践をすすめる

ことによって、全国の教師から注目されきた岩手のサークルの成

果はつぎの書物にまとめられて

いる。サーカルの共同研究として

は、今日ほとんど唯一の、水準の

高いものである。

○技術教育を語る会『技術科教育の計画と展開』（一九六五年、明治図書）

○全国進路指導研究会編『後期中等教育再編成と進路指導』（一九六六年、明治図書）

○日教組編『後期中等教育改革』（一九六六年、明治図書）

○後期中等教育改革に於ける技術科の位置づけ

○原正敏・佐々木享『技術教育と災害問題』（一九六六年、国士社）

いだけでなく、問題が包摺的に検討されている。対策がおくれていて

後者は、採録された資料が新しくまとめてある。

○原正敏編『技術科の災害と安全管理』（一九六四年、明治図書）

いだけでなく、問題が包摺的に検討されている。対策がおくれていて

後者は、採録された資料が新しくまとめてある。